

2019(令和元)年度 茨城県央地域定住自立圏共生ビジョン事業の実施状況

1 医療分野

基本目標

指標	基準値 (2014 年末)	実績値 (2018 年末)	目標値 (2020 年末)
圏域の医療施設従事医師数	1,314 人	1,385 人	1,370 人
圏域の看護師・准看護師数	7,712 人	8,159 人	8,310 人

事業No. 1	診療所情報共有・啓発事業	事業費（決算額）	116 千円
---------	--------------	----------	--------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
健康セミナー参加者数	0 人	延べ 208 人	延べ 325 人
健康セミナー参加者 満足度（5 点満点）	平均 4.3 点 (2017 年度)	平均 4.8 点	平均 4.5 点

<実施状況>

県央地域の休日夜間緊急診療所の開設状況、救急医療の周知等を行い、適正受診の意識啓発を図った。

○ガイドブックの配布

救急医療の現状及び適正受診の啓発のためのガイドブックを 39 万 4 千部作成、圏域の全世帯に配布し（平成 29 年 12 月）、引き続き、転入者等に対し配布を行った。

また、茨城おとな・子ども救急電話相談の電話番号に変更が生じたため、ガイドブックの一部訂正を行った。

○診療所情報ホームページ掲載

平成 29 年 5 月に構成市町村のホームページに掲載し、随時、最新情報に更新した。

○適正受診の啓発

救急医療における適正受診の啓発記事を構成市町村の広報紙へ掲載したほか、小児医療をテーマに健康セミナーを開催し、順天堂大学講師による講演、個別相談を実施した。

開催期日：令和元年 11 月 17 日（日）

会 場：水戸市大町子育て支援・多世代交流センター「わんぱく・みと」

ひたちなか市子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」

参 加 者：県央地域内の未就学児の保護者等 63 人

＜今後の取組方針＞

- ・ガイドブックについては、適宜変更を反映させながら、転入者等へ配布する。
- ・診療所情報や地域医療のホームページを随時最新情報へ更新する。
- ・救急医療における適正受診の啓発記事を構成市町村の広報紙へ掲載する。
- ・健康セミナーの開催は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施方法も含め検討し、決定する。

事業No. 2	診療所運営支援事業	事業費（決算額）	20,401 千円
---------	-----------	----------	-----------

＜重要業績評価指標（KPI）＞

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
水戸市休日夜間緊急診療所の体制の維持	開設日数：365 日 (夜間, 休日昼間含む)	開設日数：365 日 (夜間, 休日昼間含む)	開設日数：365 日 (夜間, 休日昼間含む)

＜実施状況＞

水戸市休日夜間緊急診療所の運営経費に対して、定住自立圏構成市町村のうち休日夜間診療所を持たない那珂市、茨城町、大洗町及び城里町が財政支援を行い、運営体制の充実を図った。事業費（決算額）のうち、那珂市 592,000 円、茨城町 1,306,000 円、大洗町 265,000 円、城里町 428,000 円、残額を水戸市が負担した。

＜今後の取組方針＞

休日夜間診療所を持たない那珂市、茨城町、大洗町及び城里町からの運営費の一部負担を継続し、安定的な運営を図る。

事業No. 3	産婦人科医確保事業	事業費（決算額）	19,451 千円
---------	-----------	----------	-----------

＜重要業績評価指標（KPI）＞

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
水戸赤十字病院の産婦人科医数	8 人	6 人	8 人

＜実施状況＞

安定的な医師の確保に苦慮している水戸赤十字病院に対して、産婦人科医の確保のための経費について、財政支援を実施した。

＜今後の取組方針＞

産婦人科医の確保のための財政支援を継続するとともに、水戸赤十字病院における周産期医療体制の現状や今後の体制維持等についての情報収集を行う。

事業No. 4	小児科医確保対策事業	事業費（決算額）	—
---------	------------	----------	---

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
小児科医の確保数	0 人	0 人	1 人

<実施状況>

小児科医確保対策の検討において、小児科医の必要性を周知するため、小児医療の現状等を市町村ホームページへ掲載することを決定した。

<今後の取組方針>

引き続き、小児科医確保対策の検討を行うとともに、県央地域における小児医療の調査及び平成 30 年医師・歯科医師・薬剤師調査結果をもとに、医師確保の必要性を周知するため、小児医療の現状等に関する内容を構成市町村の「小児科医」のホームページへ掲載する。

事業No. 5	看護師等確保事業	事業費（決算額）	225 千円
---------	----------	----------	--------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
病院見学ツアー参加者数	0 人	延べ 20 人	延べ 100 人
復職看護師数	0 人	延べ 11 人	延べ 45 人

<実施状況>

潜在看護師の復職支援を行うことで、看護師の確保を図るため、茨城県看護協会と連携して病院見学ツアーを実施した。

開催期日：①令和元年 10 月 16 日（水） ②令和元年 10 月 29 日（火）

見 学 先：①介護老人保健施設渡里の里及び水府病院，②ひたちなか総合病院

参加者：①令和元年 10 月 16 日（水）：4 人，②令和元年 10 月 29 日（火）：1 人

事業内容：介護老人保健施設及び病院を見学し、勤務体制、福利厚生、教育システムの話や復職者からの体験談などを聞く。

<今後の取組方針>

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、代替となる事業も含め検討し、実施内容を決定する。また、開催とする場合は、子育て世帯が参加しやすいよう、希望する時間帯のみの参加や開催時間を短縮するほか、シミュレーターによる採血演習を実施する。

事業No. 6	小中学生病院体験ツアー事業	事業費（決算額）	1 千円
---------	---------------	----------	------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
病院体験ツアー参加者数	0 人	延べ 106 人	延べ 150 人

<実施状況>

小中学生が医療現場を体験し、医療に対する理解を深め、将来の選択肢として医療従事者を目指す動機付けを図ることを目的に実施した。

開催期日：令和元年 8 月 10 日（土）

会 場：水戸済生会総合病院

参 加 者：県央地域内の小中学生 48 人（定員 50 人 応募者 112 人）

テーマ：「命を守る」医療の世界を体験しよう!!



リハビリ体験に挑戦する児童生徒



ドクターヘリを見学する児童生徒

アンケートでは、「医師や看護師になりたい気持ちが強くなった」や「普段見られないところが見られて良かった」などの感想があり、好評であった。

<今後の取組方針>

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、代替となる事業も含め検討し、実施内容を決定する。

2 福祉分野

基本目標

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
圏域内法人の後見受任件数	8 件	36 件	45 件

事業No. 7	成年後見制度の普及啓発	事業費（決算額）	623 千円
---------	-------------	----------	--------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
住民向け学習会の参加者数	0 人	381 人	延べ 300 人

<実施状況>

○パンフレットの作成・配布

制度についてわかりやすく説明したパンフレット等を作成・配布し、制度の普及啓発を行った。

- ① パンフレット 6,000 部（構成市町村の関係窓口等に設置）
- ② リーフレット 6,000 枚（構成市町村の関係窓口等に設置）
- ③ ポケットティッシュ 6,000 個（講演会や学習会等で配布）
- ④ のぼり旗 50 枚（相談会やイベント等で活用）

○広報紙，ホームページ，フェイスブックへの掲載

制度の説明や学習会の様子等を掲載した。また、学習会の申込書及び権利擁護サポートセンターの三つ折りパンフレットをダウンロードできるようにした。

○ニュースレター「権利擁護サポートセンター便り」の発行

ニュースレターを発行し、圏域内自治体及び社会福祉協議会に送付した。

○成年後見制度に関する住民向けの学習会・相談会の開催

・令和元年 7 月 19 日（金）に笠間市で権利擁護講演会を開催し、69 人が参加した。

エンディングノートを用いた成年後見制度及び相続法の改正についての説明を行った。

また、会場の一部に成年後見制度や日常生活自立支援事業等のポスター等を掲示し、閲覧していた方から質問があった。



自分が望む、介護・財産管理・相続のため、エンディングノートを活用して成年後見制度まで見据えた生活設計を行おうと講演

・令和元年9月29日（日）に小美玉市の福祉にっこりまつりにおいて、司法書士による講話及び相談コーナー、普及啓発ブース、塗り絵コーナーを設置。講話及び相談コーナーには46人が参加し、普及啓発ブース及び塗り絵コーナーには約200人が参加した。



司法書士による講話及び相談コーナー



普及啓発ブース及び塗り絵コーナー

・令和元年12月4日（水）那珂市総合センターらぼーるで開催された「いいなかふれあいフェスティバル」において、成年後見制度の普及啓発を目的とした「成年後見制度市民学習会」を開催し、37人が参加した。また、本会からエンディングノートの説明をしたほか、無料相談窓口及び普及啓発コーナーに、制度の概要を解説した資料を設置するとともに、個別の相談を受け付けた。



事例を通して成年後見制度を説明



本会で作成したエンディングノートを用いて説明



相談コーナーを設置

・令和2年2月27日（木）、城里町常北保健福祉センターにて、水戸市社会福祉協議会と城里町が共催で、「成年後見制度学習会」を開催した。講演会には、地域住民の方々等20人が参加した。第1部は弁護士による講演会、第2部は城里町地域包括支援センターによる、認知症の人への接し方、認知症の相談窓口等についての講演会を実施した。



成年後見制度を利用した契約・相続遺言について講演



認知症チェックシート等を用いて説明



認知症理解、予防について講演

<今後の取組方針>

制度についてのパンフレット等の作成，広報紙や市社協のホームページにおいて制度の説明を行うとともに，市民向け学習会・相談会を開催することによって制度の普及啓発を図る。

事業No. 8	成年後見制度の利用支援	事業費（決算額）	120 千円
---------	-------------	----------	--------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
権利擁護・成年後見制度に係る相談件数	0 件	909 件	180 件

<実施状況>

成年後見制度の利用手続きなどについて，水戸市社会福祉協議会権利擁護サポートセンターにおいて，電話・来訪等により相談を受け付けた。

水戸市社会福祉協議会権利擁護サポートセンター相談件数：909 件

<今後の取組方針>

成年後見制度に関しての相談を受け付ける窓口として今後も周知を行い，専門職団体と連携して幅広く相談に応じていく。

事業No. 9	市民後見人の養成及び活動支援	事業費（決算額）	90 千円
---------	----------------	----------	-------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
養成講座修了生の後見等業務活動件数	0 件	12 件	12 件

<実施状況>

○生活支援員及び法人後見支援員としての活動

養成講座修了生に対する活動支援として，圏域内市町村社協で実施している日常生活自立

支援事業の生活支援員及び法人後見支援員として実務経験を積んでいただくための活動機会を提供した。

○ニュースレター「権利擁護サポートセンター便り」の発行

権利擁護サポートセンターの取組状況を発信することや、市民後見活動希望者同士のつながりをもつことを目的として、各市町村で開催される住民向けの学習会の案内、成年後見制度の動向やその他スキルアップにつながる内容等のニュースレターを発行した。

○市民後見人養成講座フォローアップ研修

令和元年12月20日（金）、笠間市地域交流センター「いわま」にて市民後見人養成講座修了生のスキルアップを目的とした「市民後見人養成講座フォローアップ研修」を開催し、平成30年度修了生13人を含む、40人の参加のもと、社会福祉士を講師に「判断能力の低下している方の意思決定支援（基礎研修）」について学んだ。



本人の最善の利益をまもるための意思決定支援について講演



グループを作り、事例を基に演習を行いながら、判断能力の低下している方を主体とした意思決定についてのイメージ化を図った。



<今後の取組方針>

市民後見人養成講座の修了生に日常生活自立支援事業の生活支援員として実務経験を積んでもらい、フォローアップ研修でスキルアップを図ってきた。市民後見人の誕生を目指し、今後も研修を開催していく。

事業No.10	成年後見制度法人後見支援	事業費（決算額）	59千円
---------	--------------	----------	------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016年度)	実績値 (2019年度)	目標値 (2021年度)
法人後見実施団体数	3団体	4団体	6団体

<実施状況>

- ・平成30年度に実施したアンケート調査において、法人後見に関心が高い法人等に対し、出前講座の紹介等を行った。
- ・県立あすなろの郷内にある「法人後見まごころ」と情報交換会を行った。

＜今後の取組方針＞

法人後見の業務を適正に行うことができる後見受任団体を増やすため、制度の普及啓発を図る。

事業No.11	法人後見の受任	事業費（決算額）	120 千円
---------	---------	----------	--------

＜重要業績評価指標（KPI）＞

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
法人後見受任件数	3 件	15 件	30 件

＜実施状況＞

圏域内において、首長申立てにより後見を開始する案件について、成年後見を受任した。

延べ受任件数（平成 28 年～）

20 件（内訳 認知症高齢者 14 件、知的障害者 4 件、精神障害者 1 件、その他 1 件）

現受任件数（令和 2 年 3 月 31 日時点）

15 件（内訳 認知症高齢者 9 件、知的障害者 4 件、精神障害者 1 件、その他 1 件）

終了件数

3 件（内訳 認知症高齢者 3 件）

＜今後の取組方針＞

法人後見の受任件数を伸ばすとともに、法人後見受任案件の中から市民後見人につないでいき、後見監督人を実施していく。

事業No.12	県央地域成年後見支援事業の運営支援	事業費（決算額）	24,106 千円
---------	-------------------	----------	-----------

＜重要業績評価指標（KPI）＞

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
水戸市社会福祉協議会で県央地域成年後見支援事業に従事する職員の数	0 人	3 人	3 人

＜実施状況＞

県央地域成年後見支援事業を実施する水戸市社会福祉協議会に対し、運営経費について支援することにより、以下の事業の安定的な推進を図った。

- ・成年後見制度の普及啓発
- ・成年後見制度の利用支援
- ・市民後見人の養成及び活動支援
- ・成年後見制度法人後見支援
- ・法人後見の受任

＜今後の取組方針＞

学習会・相談会の実施、法人後見の受任、市民後見人フォローアップ研修などの事業を安定的に推進していくため、引き続き、水戸市社会福祉協議会への支援を行う

3 産業振興分野

基本目標

指標	基準値 (2015 年)	実績値 (2018 年)	目標値 (2021 年)
圏域全体の観光交流人口	19, 202, 700 人	19, 898, 300 人	22, 145, 000 人

事業No.13	県央地域内の観光マーケティング調査	事業費（決算額）	—
---------	-------------------	----------	---

<重要業績評価指標（K P I）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年)	目標値 (2021 年度)
観光マーケティング調査の実施回数	0 回	5 回	3 回

<実施状況>

平成 29 年度及び平成 30 年度に観光動態調査などのマーケティング調査を実施した。

<今後の取組方針>

これまで実施してきたマーケティング調査の結果及び分析を踏まえ、戦略的な観光誘客促進施策に取り組む。

事業No.14	県央地域魅力発信事業	事業費（決算額）	6, 750 千円
---------	------------	----------	-----------

<重要業績評価指標（K P I）>

指標	基準値 (2015 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
土産品イベントの出品数	0 品 (2016 年度)	38 品	延べ 100 品
いばらき県央地域観光協議会ホームページの P V 数	51, 999 P V	37, 055 P V	100, 000 P V
外国人観光客向けキャンペーンの実施	0 回	2 回	4 回

<実施状況>

○観光戦略の設定と情報発信

観光プロモーションを展開するに当たり、統一性・一貫性を持たせるため、テーマ・コンセプトを設定し、新聞記事への掲載をはじめ、ホームページでの活用を図るなど、周知を行った。

設定に当たっては、平成 29 年度に実施したマーケティング調査における G A P 調査により、20～49 歳女性の県央地域への来訪経験が最も低いものの、来訪意向は 20～34 歳女性が最も多く、次いで 35～49 歳女性が高いことが分かったため、20～30 代女性をターゲットに設定した。

私がシフトする、明日が変わる。

あす旅

いばらき県央

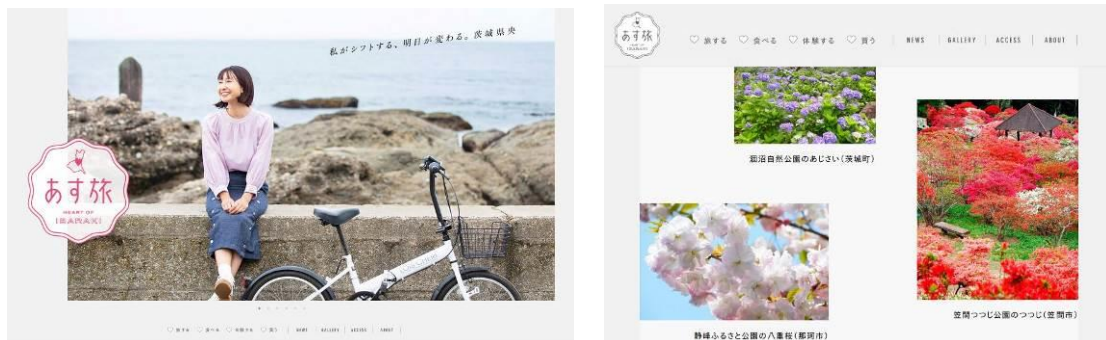
<コンセプト>



<ロゴデザイン>

○「いばらき県央地域観光協議会」ホームページの刷新

ページビュー数が減少傾向で、直帰率の高さやリピーターの少なさが課題となっている広域観光ホームページについて、ページデザインの刷新やCMSを導入し、視覚的な訴求力や更新率を高めるページに改善した。



刷新後のホームページデザイン

○観光キャンペーンの実施

▽いばらき県央地域「春」の観光キャンペーン

効果的な広域観光推進を図るため、年間 200 万人超と、県央地域で最も高い集客力を誇る国営ひたち海浜公園において、来園者に対し、県央地域のイベント告知を行うとともに、周遊ニーズ等に関するアンケート調査を行った。

実施期日：平成 31 年 4 月 28 日（日）



いばらき県央地域「春」の観光キャンペーン

○物産イベントの開催に向けた協議

平成 29, 30 年度に開催した物産イベントでのアンケート調査により、ターゲットとしている女性層の集客を見込めることが把握できたことから、より多くの女性層に来場していただけるイベントの実施に向けて、内容の協議、検討を行った。

その結果を踏まえ、県央地域を代表する食資源とイメージカラーを組み合わせ、チーズやヨーグルト、しらす等の「白」、栗やいなり寿司、ほしいも、納豆等の「茶」の 2 色をキーカラーに、「白」と「茶」のそれぞれの資源が持つ「なぜ県央地域に根付いているのか」「なぜ県央地域で始まったのか」という物語を圏域内外に発信する「茨城まんなかしろとちゃマルシェ」を企画した（新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。開催時期は未定）。

○物産イベント（販路拡大、ブランド力向上等支援）の実施

茨城県央地域ならではの土産品等について、販路拡大やブランド力向上を目的として、物産イベントを実施した。

▽販売促進・販路拡大を目指す事業者向けセミナー「輝け！地方の本当に良いモノたち～価格競争から価値競争へ～」

地域特産品のブランディングや商談会等での自社商品の P R 方法について、講演を行った。

- ・実施期日：令和 2 年 2 月 12 日（水）
- ・参加者：県央地域内事業者 12 社 16 人

▽相談会・ビジネスマッチング（商談会）

上記講演会終了後、希望者に対し、販路拡大やブランド育成、パッケージ、デザインに関する専門家との相談会を実施した。

また、同会場において、県央地域内のバイヤー（ネクセリア東日本（株）水戸支店、（株）京成百貨店、（株）セイブ）と予約制の商談会を実施した。

○広告の出稿

磯節全国大会のプログラム（予選会、決戦会等で 2,000 部配布）に広告を掲載した。

また、ホームページへの誘導を図り、県央地域の魅力を効果的に発信することを目的として、じゃらん本誌とじゃらんニュース（WEB）への記事掲載と、バナー広告を実施した。

＜今後の取組方針＞

- ・土産品イベントについては、新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら、延期とした「茨城まんなかしろとちゃマルシェ」を開催し、県央地域の認知度及びブランド力の向上を図っていく。
- ・協議会ホームページについては、令和元年度に刷新したホームページにおける情報発信を強化し、県央地域の認知及び興味・関心獲得に資するページへの誘導に取り組んでいく。
- ・外国人観光客向けキャンペーンについては、マーケティング調査の結果や各自治体のインバウンド対応状況等を踏まえ、より効果的なキャンペーンを検討した上で実施する。

事業No.15	周遊型観光の推進事業	事業費（決算額）	4,597 千円
---------	------------	----------	----------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
周遊イベント（水戸八景グルメライドを想定）の県外参加者率	36% (2015 年度)	-	45%
周遊ツアーの造成	0 本	21 本	8 本
周遊ツアーの集客数	1,720 人 (2018 年度)	1,909 人	3,000 人

<実施状況>

○周遊ツアーの催行に向けた検討

平成 30 年度までに協議，造成したコースをもとに，ツアーを販売・催行するため，旅行会社への周知とともに，情報収集及び検討を行った。

○県央定食の開発及び現地ツアーの企画・催行

20 代後半から 40 代前半の女性を中心に，月間 15,000 人が訪れる渋谷ヒカリエ d47 食堂において，食資源調査結果を踏まえた，県央地域の魅力ある食材を活用した定食の開発及び販売を行った。

あわせて，定食で使用している食材の生産地を巡るモニターツアーの企画・催行により，認知度向上を図るとともに，SNS 等を通じて実施状況の情報発信を行った。

▽茨城県央定食

- ・販売期間：令和元年 11 月 13 日（水）～12 月 10 日（火）
- ・販売価格：税込 1,750 円
- ・販売数：583 食

▽茨城県央を味わう食の旅（モニターツアー）

- ・実施期日：令和 2 年 1 月 25 日（土）
- ・参加者：16 人
- ・行程：大喜や→那珂湊おさかな市場→地魚寿し鯨の浜よし→だるま食品→須崎農園→芋助→木内酒造

○県央地域内の観光資源魅力向上事業の推進

県央地域内のイベントや食資源等の魅力を更に高めることができるものや，県央地域内の周遊が期待できる事業について，協議会構成市町村及び観光協会から提案を募り，支援を行った。

▽県央地域の食材と納豆を活用したメニューの開発

7月10日の「納豆の日」において、茨城県納豆商工業協同組合を中心に、納豆に関する様々な企画が行われるなか、水戸市役所本庁舎内のレストランとの連携により、県央地域9市町村の食材を活用したメニューを新たに開発し、納豆の日から5日間（1日限定30食／税込み710円）、販売を行った。



県央地域内の食材を活用したメニュー

水戸市：納豆
笠間市：自然薯
ひたちなか市：醤油
那珂市：かぼちゃ
小美玉市：たまご、にら
茨城町：しじみ
大洗町：しらす
城里町：トマト
東海村：とうもろこし

○「春・初夏のいばらきよいとこプラン」におけるツアーの催行

市町村職員によるワークショップ等で洗い出した県央地域内の観光資源を直結させ、観光交流人口や相乗効果を創出させるツアーを造成し、県観光物産協会内「いばらきツアーオフィス」主催の「春・初夏のいばらきよいとこプラン」において参加者を募り、催行した。

- ・催行ツアー数：7ツアー
- ・集客数：149人

▽学びと遊びのフルコース！座禅で精神統一&創業114年の老舗醤油蔵見学

前半は弘道館のガイド付き散策と座禅体験、そして後半は海鮮ランチや絶景の宝庫ひたち海浜公園や老舗醤油蔵を回る一張一弛を意識したツアーを実施した。

- ・実施期日：平成31年4月19日（金）
- ・参加者：7人
- ・行程：水戸駅→弘道館→一乗院→那珂湊おさかな市場→国営ひたち海浜公園→黒澤醤油店→勝田駅→水戸駅



弘道館



黒澤醤油店

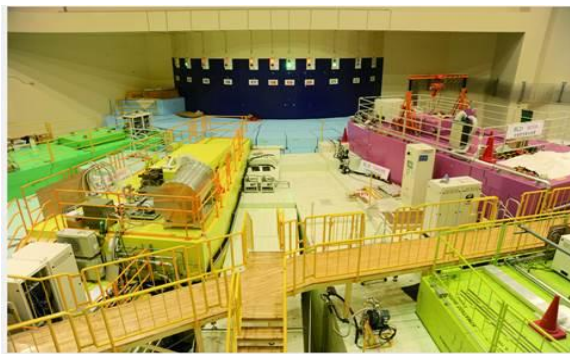
▽世界に誇る絶景ネモフィラと最先端研究施設と老舗酒蔵で大人の社会科見学

老舗酒蔵や普段は入れない研究施設での社会科見学に加え、春の絶景ネモフィラと那珂湊の海の幸を楽しんでいただくツアーを実施した。

- ・実施期日：平成 31 年 4 月 28 日（日）
- ・参加者：37 人
- ・行程：勝田駅→国営ひたち海浜公園→那珂湊おさかな市場→J-PARC→木内酒造→水戸駅→勝田駅



国営ひたち海浜公園



J-PARC

▽世界で1つだけのマイ笠間焼づくりと納豆工場見学

見頃を迎えた藤の甘い香りに包まれた笠間稲荷神社の散策や笠間焼づくり体験、おかめ納豆を製造するタカノフーズの工場見学を楽しむツアーを実施した。

- ・実施期日：令和元年 5 月 6 日（月）
- ・参加者：15 人
- ・行程：水戸駅→笠間稲荷神社→桧佐陶工房→ポケットファームどきどき→タカノフーズ納豆工場→空のえき そ・ら・ら→石岡駅→友部駅



笠間稲荷神社



タカノフーズ納豆工場

▽春を楽しむたけのこ掘りと茨城三大銘茶の茶畑見学

笠間のたけのこ小美玉の蓮根を使用した限定ピザづくりや徳川光圀公が感嘆したと言われる古内茶の壮大な茶畑見学を体験していただくツアーを実施した。

- ・実施期日：令和元年5月12日（日）
- ・参加者：13人
- ・行程：友部駅→笠間クラインガルテン→ふれあいの里→高安園（茶畑見学）→水戸ドライブイン→水戸駅→友部駅



ふれあいの里（ピザ作り体験）



高安園

▽納豆、チーズ、ヨーグルト！地の発酵食品で腸活ツアー

朝ヨガで日々の疲れを癒し、チーズ→納豆→ヨーグルトと県央地域自慢の発酵食品巡りで身体も心も健康へと誘うリフレッシュツアーを実施した。

- ・実施期日：令和元年6月16日（日）
- ・参加者：17人
- ・行程：水戸駅→ふれあいの里→水戸市森林公園→割烹魚政→外之内牧場→空のえきそ・ら・ら→石岡駅→水戸駅



ふれあいの里（ヨガ体験）



外之内牧場

▽旬のブルーベリー狩り&ご当地ピザ作り体験

旬の完熟ブルーベリー狩りや稲田みかげ石の採石場「石切山脈」のガイド付き散策を楽しんでいただくツアーを実施した。

- ・実施期日：令和元年6月23日（日）
- ・参加者：30人
- ・行程：水戸駅→磯野ブルーベリー園→ふれあいの里→ギャラリーロード→石切山脈→水戸ドライブイン→水戸駅



石切山脈



磯野ブルーベリー園

▽大人気「屋形船編」第2弾！完熟マンゴー栽培見学と1万株のあじさい鑑賞

県内初のマンゴー園や屋形船での涸沼の景色鑑賞を楽しんでいただくツアーを実施した。

- ・実施期日：令和元年7月6日（土）
- ・参加者：30人
- ・行程：水戸駅→保田園（マンゴー栽培見学）→涸沼広浦屋（屋形船）→涸沼自然公園→大洗磯前神社→海・山直売センターいきいき→水戸駅→羽鳥駅



保田園



涸沼広浦屋

○「秋のいばらきよいとこプラン」におけるツアーの催行

- ・催行ツアー数：2 ツアー
- ・集客数：40 人

※台風の影響で、その他予定していた2 ツアーが中止となった。

▽秋のおいしすぎる食と絶景「石切山脈」巡り

秋の味覚栗・ぶどう狩り体験に加え、絶景として注目される石切山脈のガイド付き散策を満喫していただくツアーを実施した。

- ・実施期日：令和元年9月21日（土）
- ・参加者：25 人
- ・行程：友部駅→石切山脈→笠間クラインガルテン→割烹川広→清水ぶどう園→水戸駅→友部駅



笠間クラインガルテン



清水ぶどう園

▽秋の風情とおいしい旬巡り

菊まつりでにぎわう日本三大稲荷の笠間稲荷参拝と水戸市のイチョウ・紅葉勸賞、そしてピザづくりやりんご狩りを楽しんでいただくツアーを実施した。

- ・実施期日：令和元年11月16日（土）
- ・参加者：15 人
- ・行程：友部駅→笠間稲荷神社→ふれあいの里→森田観光果樹園→茨城県立歴史館→もみじ谷→水戸駅



笠間稲荷神社



もみじ谷

○体験プログラムの強化

「モノ消費」から「コト消費」に消費スタイルが変化しているなかで、県央地域ならではの体験プログラムとして集約し、協議会ホームページ内に紹介ページを設け、情報発信を行った。



○サイクルツーリズムの推進

全国的にサイクルツーリズムを通じた取組が活発化しており、県央地域においても、いばらき自転車活用推進計画を参考としつつ、自然や歴史、飲食等、観光資源を楽しみながら周遊ができるモデルコースの設定に向けた検討を行った。

▽水戸市・那珂市・城里町周遊コース

▽笠間市・小美玉市・茨城町周遊コース

▽ひたちなか市・大洗町・東海村周遊コース

また、上記のコース決定を目的とし、サイクリングの専門家とともに試走するライドイベント「ファンライド de あす旅」を企画した（新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。開催時期は未定）

<今後の取組方針>

- ・周遊イベントについては、サイクリングのモデルコースの設定に向けて実施する予定だったライドイベントが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。今後は、検討中の3つのモデルコースを決定し、状況を見極めた上でライドイベントを実施する。
- ・周遊ツアーの造成については、県央地域9市町村間で綿密な打ち合わせを行い、十分な造成ができていることから、よいとこプラン等におけるツアー催行を通じた成果検証をしながら、令和2年度においても、引き続き、新型コロナウイルスの状況を見極めつつ、多くの集客につながる取組を進めていく。

4 環境分野

基本目標

指標	基準値 (調査時点)	実績値	目標値 (達成年度)
取組を実施する住民1人当たりの電力使用による二酸化炭素排出量	58.5kg-CO ₂ (2015年11月)	51.7kg-CO ₂ (2019年11月)	8%削減(53.8kg-CO ₂) (2021年11月)
	74.2kg-CO ₂ (2014年12月)	69.4kg-CO ₂ (2018年12月)	8%削減(68.3kg-CO ₂) (2020年12月)

事業No.16	エコライフチャレンジ	事業費(決算額)	649千円
---------	------------	----------	-------

＜重要業績評価指標（KPI）＞

指標	基準値 (2015年度)	実績値 (2019年度)	目標値 (2021年度)
エコライフチャレンジ参加者数	1,317人	1,563人	2,000人

＜実施状況＞

10月～11月の電気使用量（電力会社からの「電気ご使用量のお知らせ」11月分）と1年前の同時期の電気使用量を比較し、その削減量を競う「CO₂削減 エコライフチャレンジ 2019」を実施した。

- ・対象：県央地域に居住する者、構成市町村職員
- ・実施期間：令和元年10月～11月までの2か月間
- ・周知方法：広報やSNSのほか、案内チラシ等により周知を図った。
- ・参加者数

水戸市	笠間市	ひたちなか市	那珂市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	東海村	合計
348人	389人	61人	338人	49人	99人	25人	41人	213人	1,563人

＜今後の取組方針＞

本年度は、11月～12月の電気使用量（電力会社からの「電気ご使用量のお知らせ」12月分）と1年前の同時期の電気使用量を比較し、その削減量を競う「CO₂削減 エコライフチャレンジ 2020」を実施する。引き続き広く周知を行い、さらなる参加者の増加に努める。

事業No.17	環境啓発イベントへの相互参加	事業費（決算額）	—
---------	----------------	----------	---

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
環境啓発イベントの開催回数	4 回	5 回	6 回

<実施状況>

「茨城県央地域環境活動ガイドブック」を活用し、環境啓発イベントや環境保全活動、環境学習会などの情報を広く発信することで、圏域内において開催されている各種イベントへの相互参加を促進した。

（相互参加イベント）

・水戸市環境フェア 2019（6/2 開催），とうかい環境フェスタ 2019with キャンドルナイト（8/3 開催），かさま環境フェア 2019（10/26 開催），環境シンポジウム 2020（ひたちなか市，2/8 開催），那珂市環境シンポジウム（2/23 開催）

<今後の取組方針>

引き続き，「茨城県央地域環境活動ガイドブック」を活用し，環境啓発イベントや環境保全活動，環境学習会などの情報を広く発信し，圏域内において開催されている各種イベントへの相互参加を促進する。また，内容を見直し，新たなガイドブックを作成する。

（相互参加イベント）

・水戸市環境フェア 2020（中止），とうかい環境フェスタ 2020with キャンドルナイト（中止），環境シンポジウム 2021（ひたちなか市，2/6 開催予定）

5 教育分野

基本目標

指標	基準値 (2015 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
圏域内住民の広域利用者 総数	263,766 人	256,295 人	270,000 人

事業No.18	公の施設の広域利用に係る P R 事業	事業費（決算額）	276 千円
---------	---------------------	----------	--------

<重要業績評価指標（K P I）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
いばらき県央地域ガイド ホームページの P V 数	309,554 P V	180,357 P V	360,000 P V
利用促進キャンペーンの 参加者数	0 人	延べ 867 人	延べ 6,000 人

<実施状況>

○「いばらき県央地域ガイド」ホームページの充実

ホームページの内容を、随時、最新のものに更新した。また、下記キャンペーンの詳細についても掲載した。

○利用促進キャンペーン（スタンプラリー）の実施

- ・開催期間：令和元年 8 月から令和 2 年 3 月
- ・対象施設：県央地域 9 市町村内の体育施設、図書館などの公の施設 91 施設
- ・参加者数：延べ 359 人
- ・周知方法：茨城県央地域ガイドホームページ、各市町村広報紙及び各対象施設へ配布したガイドブック（6,000 部作成）等を活用し、周知を図った。
- ・参加賞：オリジナルデザインのクリアファイル

<今後の取組方針>

引き続き、スタンプラリーを実施し、公の施設の広域利用についての P R を図る。

事業No.19	公の施設の広域利用に係る利便性向上事業	事業費（決算額）	—
---------	---------------------	----------	---

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2016 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
広域利用対象施設数	78 施設	76 施設	80 施設
利便性に満足している住民の割合	68% (2017 年度)	72%	80%

<実施状況>

○利便性向上に向けた検討

公の施設の広域利用について、利用者のニーズの把握等を行うための、アンケート調査を実施した。

調査期間 令和元年 8 月～9 月

回 答 数 1,178 件

(結果の概要)

主 な 調 査 項 目		回答割合
広域利用制度を	知っていた	55.4%
	知らなかった	44.6%
広域利用制度を利用したことが	ある	60.8%
	ない	39.2%
制度で利用した他市町村の施設（複数回答）	スポーツ施設	60.4%
	図書館	41.0%
	ホール・会館	25.4%
	レク施設	15.4%
今後この制度で他市町村の施設を利用したいか	大いに利用したい	45.2%
	やや利用したい	32.1%
対象施設を拡充すべきか	充実するべき	45.0%
広域利用制度について	非常によい	30.2%
	よい	41.8%

<今後の取組方針>

アンケートの調査結果等を踏まえ、引き続き、利便性向上に向けた検討を行う。

6 地域公共交通分野

●基本目標

指標	基準値 (2015 年度)	実績値 (2018 年度)	目標値 (2021 年度)
中心市の路線バスの 1 日 当たりの利用者数	29,830 人	34,675 人	32,800 人

事業No.20	公共交通の維持・確保	事業費（決算額）	14,528 千円
---------	------------	----------	-----------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2015 年度)	実績値 (2018 年度)	目標値 (2021 年度)
水戸市と近隣市町村を 結ぶ路線バスの系統数	88 系統	85 系統	85 系統

<実施状況>

○先行事業の実施（城里町）

路線バス石塚・赤塚線の運行（平成 29 年 4 月 1 日から 1 日 8 便 4 往復運行）

<利用状況>

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
9,801 人	10,970 人	12,791 人

○地域公共交通の域外運行（那珂市）

乗合型デマンド交通「ひまわりタクシー」の水戸市乗り入れ（平成 31 年 4 月 1 日から）

<利用状況>

那珂市 ⇒水戸駅北口	那珂市 ⇒京成百貨店	京成百貨店 ⇒那珂市	計
649 人	461 人	715 人	1,825 人

※水戸駅北口は、降車のみ

<今後の取組方針>

交通事業者等と連携しながら、引き続き、広域路線の利用促進に努める。

令和 2 年度から路線バス石塚・赤塚線のダイヤを見直したところであり、その効果検証や需要の把握を行い、必要に応じてダイヤ等の更なる見直しについても検討を進める。

事業No.21	公共交通の利用促進	事業費（決算額）	259 千円
---------	-----------	----------	--------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2017 年度)	実績値 (2018 年度)	目標値 (2021 年度)
水戸市と近隣市町村を結ぶ路線バスの1日当たりの利用者数	8,657 人	9,303 人	9,600 人

<実施状況>

○ノーマイカーウィークの実施

公共交通の利用を促進するとともに、過度なマイカー利用がもたらす地球温暖化問題への意識の高揚を図るため、ノーマイカーウィークを実施した。

<第1回>

期 間 令和元年6月1日（土）～7日（金）

対象者 構成市町村の職員

実 績 3,144 人の構成市町村職員がマイカー利用を控える取組を行った。

【市町村ごとの職員の取組状況】

水戸市	笠間市	ひたちなか市	那珂市	小美玉市
1,746 人	252 人	275 人	202 人	197 人
茨城町	大洗町	城里町	東海村	合 計
124 人	117 人	19 人	212 人	3,144 人

<第2回>

実施期間：令和元年12月20日（金）～26日（木）

対 象 者：構成市町村の職員、住民、通勤者及び通学者

実 績：3,545 人の構成市町村職員がマイカー利用を控える取組を行うとともに、構成市町村ごとに公共交通を促進するための取組を行った。

【市町村ごとの職員の取組状況】

水戸市	笠間市	ひたちなか市	那珂市	小美玉市
1,807 人	316 人	472 人	250 人	185 人
茨城町	大洗町	城里町	東海村	合 計
137 人	130 人	27 人	221 人	3,545 人

<今後の取組方針>

事業所へのPRを強化するなど、ノーマイカーウィークへの参加を広く呼び掛けるとともに、圏域住民が参加したくなるような取組について更なる検討を進める。

7 人材育成分野

●基本目標

指標	基準値 (2015 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
圏域内市町村の合同研修及び他市町村が開催する研修に参加する職員数	0 人	延べ 287 人	延べ 270 人

事業No.22	職員の能力向上に向けた研修会の合同開催及び相互参加	事業費（決算額）	536 千円
---------	---------------------------	----------	--------

<重要業績評価指標（KPI）>

指標	基準値 (2015 年度)	実績値 (2019 年度)	目標値 (2021 年度)
合同研修開催回数	0 回	延べ 6 回	延べ 6 回
研修相互参加人数	0 人	延べ 133 人	延べ 90 人

<実施状況>

○構成市町村が開催する研修会への相互参加

令和元年 5 月 13 日に第 1 回担当者会議を開催し、その協議に基づき相互参加可能な研修を選定し、構成市町村に対し、周知・募集を行った。

- ・水戸市主催「接遇向上研修」（令和元年 7 月 10 日（水）、11 日（木）実施）
3 人参加（ひたちなか市、大洗町職員）



- ・東海村主催「ダイバーシティ研修」（令和元年 7 月 24 日（水）実施）
1 人参加（水戸市職員）
- ・水戸市主催「意識啓発研修：ワークバランス研修」（令和元年 8 月 7 日（水）、8 日（木）実施）
2 人参加（ひたちなか市、那珂市職員）



- ・東海村主催「レジリエンス研修」(令和元年8月28日(水)実施)
5人参加(水戸市, ひたちなか市, 城里町職員)
- ・水戸市主催「女性職員キャリアアップ支援研修」(令和元年9月18日(水)実施)
1人参加(小美玉市職員)



- ・東海村主催「行政法研修」(令和元年9月19日(木)実施)
2人参加(水戸市, 大洗町職員)
- ・小美玉市主催「コミュニケーションの本質」(令和元年10月10日(木)実施)
13人参加(水戸市, 笠間市, 茨城町, 大洗町, 城里町職員)
- ・茨城町主催「レジリエンス研修」(令和元年10月16日(水)実施)
7人参加(笠間市, ひたちなか市, 那珂市, 小美玉市, 大洗町職員)
- ・ひたちなか市主催「新採職員先輩指導者向けコーチング研修」
2人参加(那珂市職員) (令和元年11月14日(木)実施)
- ・東海村主催「現任課長補佐研修(コーチング)」(令和元年11月20日(水)実施)
2人参加(水戸市, 那珂市職員)
- ・笠間市主催「プレゼンテーション能力向上研修」(令和元年11月25日(月)実施)
2人参加(水戸市職員)
- ・水戸市主催「ハラスメント防止研修」(令和2年1月15日(水)実施)
5人参加(ひたちなか市, 小美玉市, 東海村職員)
- ・水戸市主催「監督職(係長級)に必要なメンタルヘルス研修」
1人参加(ひたちなか市職員) (令和2年1月22日(水)実施)
- ・水戸市主催「実務能力向上研修①説明力向上研修」(令和2年1月29日(水)実施)
6人参加(ひたちなか市, 茨城町職員)
- ・水戸市主催「実務能力向上研修②交渉力向上研修」(令和2年1月30日(木)実施)

4人参加（ひたちなか市職員）

- ・水戸市主催「行政法研修」（令和2年2月14日（金），20日（木）実施）

4人参加（小美玉市，大洗町職員）

- ・那珂市主催「障がい者差別解消職員研修」（令和2年3月2日（月），3日（火）実施）

2人参加（大洗町職員）

相互参加研修会の実施回数及び参加人数 合計17回，62人

○合同研修

前年度の実施計画に基づき，下記の合同研修会を実施した。

- ・第1回合同研修会「人材育成分野担当者向けセミナー『組織活性化とリーダーシップ』」

日 時： 令和元年5月13日（月）

会 場： 水戸市役所4階中会議室1～3

研修目的： 変革の時代において，共生ビジョンに位置付けた各事業を実施していくに当たり，人材育成を担当している職員の意識啓発を目的として，「組織活性化とリーダーシップ」のテーマで実施した。

参加人数： 合計18人（9市町村の人材育成分野職員を中心に参加）



- ・第2回合同研修会「政策形成研修」

日 時： 令和元年7月29日（月），30日（火）

会 場： 水戸市役所4階中会議室1～3

研修目的： 本研修を通して，政策形成能力の必要性や事前評価等について，他自治体の政策形成事例等を通して学び，共生ビジョンに位置付けた各事業のこれからの推進に生かすことを目的として実施した。

参加人数： 合計17人（9市町村からの公募職員）



・第3回合同研修会「ファシリテーション研修」

日 時 : 令和2年1月9日(木)

会 場 : 水戸市役所4階中会議室1～3

研修目的 : 本研修を通して、会議のファシリテーター(中立な立場の会議進行役)に必要な技術を習得することにより、効果的・効率的な会議が進められるようにすることを目的として実施した。

参加人数 : 合計29人(9市町村福祉分野からの公募)

・第4回合同研修会「行政経営品質向上セミナー」

日 時 : 令和2年2月6日(木)

会 場 : 水戸市役所4階中会議室1～3

研修目的 : 本セミナーでは、管理職職員を対象として、行政運営を経営と捉え、その品質を向上し、価値の高い行政サービスを提供するための考え方や方法等を理解すること、また、県央地域定住自立圏構成9市町村の管理職職員の交流を促進し、連携の強化を図ることを目的として実施した。

参加人数 : 合計36人(9市町村からの公募職員)

合同研修会の実施回数及び参加人数 合計4回, 100人

＜今後の取組方針＞

今後も圏域内市町村の人材育成に向けて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束状況を見極めながら、合同研修及び相互参加研修を実施していく。